

習. 神経科学ニュース. No. 4 : 22-24, 1994.

- 4) 桜井芳雄:「高次脳機能の研究パラダイム」を聞いて. 重点領域研究ニューズレター. No.2 : 2-3, 1994.

## 数 学

教 授 南 部 徳 盛  
助 教 授 笹 野 一 洋

### ◆ 研究概要

南部徳盛:

- 1) 非線形退化型放物型方程式の研究
- 2) 非線形楕円型方程式の研究
- 3) 非線形常微分方程式の研究

笹野一洋:

- 1) 3次元多様体上の流れの位相的研究
- 2) 2次元多様体上の写像の位相的研究

### ◆ 学会報告

- 1) Nanbu, T.: On some degenerate nonlinear parabolic equations. Proceedings of the Fourth Internatinal Colloquium on Diffenta Equations, Bulgaria, by Bainov, D., and Covachev, V. (Ed.), 205-214, VSP, Utrecht, 1994.
- 2) Nanbu, T.: On the existence and the decay estimates of solutions of some degenerate parabolic equations. ICM 94, International Congress of Mathematicians, 1994, 8. Zurich, Switzerland.
- 3) Nanbu T.: On the positivity of solutions of some degenerate nonlinear parabolic equations. The Fifth International Colloquium on Differential Equations, 1994, 8, Plovdiv, Bulgaria.

### ◆ その他

- 1) Nanbu, T.: Large time behaviour of solutions of some nonlinear degenerate parabolic equations. 富山医科薬科大学一般教育研究紀要 16, 1-10, 1994.

## 物 理 学

教 授 林 光 彦  
助 教 授 豊 富 誠 三 郎  
教務職員 田 村 一 郎

### ◆ 総 説

- 1) Toyotomi S.: New capabilities of a spring pendulum—oscillation detection and forced oscillations. Physics Education, 29 : 382-386, 1994.

### ◆ 学会報告

- 1) 田村一郎, 林光彦: 酸化した鉄微粒子のメスバウアー効果. 日本物理学会1994年秋の分科会, 1994, 9, 静岡.

## 化 学

助 教 授 広 上 俊 一  
教務職員 角 田 広 子

### ◆ 研究概要

広上俊一, 角田広子: 4-ピリミジノン誘導体の光化学反応: デュワーピリミジン誘導体のX線結晶解析による構造の決定: デュワーピリミジン誘導体の電子状態の計算

## 薬 学 部 生 物 学

教 授 菅 野 延 彦  
教務職員 日 比 野 康 英

### ◆ 原 著

- 1) Hibino Y., Konishi Y., Koike J., Tabata T., Ohashi Y., and Sugano N.: Productions of interferon- $\gamma$  and nitrite are induced in mouse splenic cells by a heteroglycan-protein fraction from culture medium of *Lentinus edodes* mycelia. Immunopharmacology, 28 : 77-85, 1994.
- 2) Hibino Y., Kusashio E., Terakawa T., and Sugano N.: Enhancement of an  $Mg^{2+}$ -dependent nuclease activity in rat liver cells exposed to cisplatin. Biochem. Biophys. Res. Commun., 202 : 749-756, 1994.

## ◆ 学会報告

- 1) 日比野康英, 藤井謙一, 塚田修市, 菅野延彦: 高度反復配列湾曲DNAに親和性を示す細胞核 scaffold 蛋白質の諸性質. 日本生化学会北陸支部第12回例会, 1994, 5, 金沢.
- 2) 草塩英治, 日比野康英, 寺川敏且, 菅野延彦: ラット肝細胞核内に存在するシスプラチン損傷DNA認識蛋白質の精製とその諸性質. 日本薬学会北陸支部第90回例会, 1994, 6, 金沢.
- 3) 日比野康英, 藤井謙一, 塚田修市, 菅野延彦: 高度反復配列湾曲DNAに親和性を示す細胞核 scaffold 蛋白質の諸性質. 第67回日本生化学会大会, 1994, 9, 大阪.
- 4) 草塩英治, 日比野康英, 寺川敏且, 菅野延彦: ラット肝細胞核内に存在するシスプラチン損傷DNA認識蛋白質の精製とその諸性質. 第67回日本生化学会大会, 1994, 9, 大阪.
- 5) 日比野康英, 草塩英治, 菅野延彦: シスプラチンによるラット肝培養細胞のDNA修復亢進. 第53回日本癌学会総会, 1994, 10, 名古屋.
- 6) 菅野延彦, 日比野康英, 小池淳平, 小西良武, 田畑智之, 大橋康宏: 椎茸菌糸体培養で得られる多糖蛋白質画分(LAP1)によるIFN- $\gamma$ と窒素酸化物の産生誘導. 第53回日本癌学会総会, 1994, 10, 名古屋.
- 7) 日比野康英, 寺川敏且, 草塩英治, 神内伸也, 菅野延彦: シスプラチンによるラット肝培養細胞のDNA修復亢進作用. 日本薬学会北陸支部第91回例会, 1994, 12, 富山.

## 英 語

教 授 藤 本 正 文  
助 教 授 松 倉 茂  
外国人教師 ジリアン・S・ケイ

## ◆ 研究概要

(藤本) 英米文学、批評理論

(松倉) 意味論 (語用論を含む)

(ケイ) Status, Role and Expectations of Foreign Teachers in Japanese Universities; Vocabulary; English Language Teaching Methodology

## ◆ 原 著

- 1) 藤本正文: 英和辞典に記載が望まれる基本的単語の語法 — any, best, compare, give, in,

that, turn をめぐって. 富山医科薬科大学一般教育紀要 16:27-44, 1994.

- 2) Matsukura, S.: Inference and logical analysis of sentences. 富山医科薬科大学一般教育紀要 16:11-26, 1994.
- 3) Kay, G., Formal and Informal Expectations of Foreign Teachers at Japanese Universities, The Language Teacher, pp 4-6, 30. vol. 18, No. 11, 1994.

## ◆ その他

- 1) Kay, G., From the Chair, ON CUE (news letter of College and University Educators). June 1994 pp 3-5.
- 2) Kay, G., From the Chair, ON CUE. Dec 1994. pp 3-5.
- 3) Kay, G., Nationwide Survey of Gaikokujin Kyoshi Employment Status, ON CUE. Dec 1994, pp 14-16.

## 独 語

講 師 名 執 基 樹

## ◆ 研究概要

18世紀以降、文化と社会との関係は著しく変化した。それまでは、特定(伝統)文化を維持する事によって社会は構造化されてきたが、社会そのものが「文化」を生産するようになってきたのである。知識人や作家といったそのための社会的役割の職業的確立、文化媒体としてのさまざまなメディアの発展と普及、それを受け入れる広範な読者・視聴者層の成立と増大、さらに、文化生産そのものについての情報生産を受け持つ機構の登場(文芸評論・文芸欄)、こうしたものがこの変化の具体的背景をなす。1) こうした歴史的推移を研究しつつ、その方向性を探るとともに(文芸社会史)、2) 日本とドイツを中心とした外国の場合と比較する事(国際文化システム比較)が私の研究活動である。目下、文化生産における作家の(経済的、社会的)位置づけをめぐる北海道大学の研究グループの調査に参加している。

## ◆ 原 著

エバーマン, Th. &トラベルト, R. 「ラディカル・エコロジー」社会評論社, 田村光彰ほか訳, 1994年(共訳)